

日本教育実践学会第29回研究大会開催（兵庫教育大学） 第2次案内

（自由研究発表予定者一覧掲載）

日本教育実践学会
会長 原 清治
日本教育実践学会第29回研究大会
実行委員長 上原 禎弘

皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、日本教育実践学会第29回研究大会を、兵庫教育大学神戸キャンパスにて開催する運びとなりました。本研究大会は、自由研究発表と2つのシンポジウムを中心に下記のとおり開催いたします。シンポジウムでは、「AIネイティブ時代における教育実践の再構築—対話・探究・グローバル教育の視点から」をテーマとして様々な教育実践の可能性について議論し、それらの成果をぜひ皆様と共有したいと考えております。

また本研究大会では、54件の自由研究発表の申し込みがありました。この第2次案内では、予定されている自由研究発表の発表者とタイトルを一覧にして掲載させていただきます。研究大会へのご参加に向けて参考にしていただければと思います。

本大会を通じて、皆様の日頃の研究成果やご発表とともに活発な意見交流が行われることを期待しています。多数の皆様のご参加、ご発表を心よりお待ちしております。

1. 主 催 日本教育実践学会
2. 後 援 文部科学省，兵庫県教育委員会，神戸市教育委員会，
兵庫教育大学連合大学院，兵庫教育大学
3. 期 日 2026年11月7日（土）・8日（日）
4. 会 場 兵庫教育大学 神戸キャンパス
〒653-0036 神戸市長田区腕塚町5-2-1 新長田キャンパスプラザ
5. 日 程

第1日目 11月7日（土）

- | | |
|-------------|--|
| 9:30～ | 受付 |
| 10:00～12:00 | 自由研究発表（別室）理事会 |
| 12:00～13:00 | 昼食 |
| 13:00～13:50 | 第29回定時総会（学会賞及び優秀教員賞の授賞式を含む） |
| 14:00～16:05 | シンポジウムⅠ「未来の教育を語ろう—AIネイティブ時代における教育実践」
講師 関西学院大学国際学部 教授 關谷 武司
実践報告 ・小学校実践報告
・中学校実践報告
・高等学校実践報告 |
| 16:05～16:15 | 休憩 |

16:15～17:20 シンポジウムⅡ「AI時代における対話型・探究型グローバル教育の再検討」
講師 東京都市大学大学院環境情報学研究科 教授 佐藤 真久
「対話型・探究型グローバル教育の可能性—複雑な問題、厄介な問題に向き合う学びの視点から—」
講師 金沢学院大学教育学部 教授 多田 孝志
「AI時代における対話の価値の再検討」

18:00～20:00 情報交換会 (会場：KOKO HOTEL 神戸新長田) …大会会場より徒歩3分

第2日目 11月8日 (日)

9:30～ 受付

10:00～12:00 自由研究発表

6. 大会参加申込み・情報交換会参加申込みについて

(自由研究発表の申し込みは、8/31で締め切りました)

第29回大会では、イベントプラットフォーム「Peatix」を利用し、大会参加、研究発表、情報交換会参加のお申込みと、参加費のお支払いを一括で行っていただきます。「Peatix」での申込み方法の詳細は、別ファイル「**Peatixでの各種申込み方法と領収書の発行について**」をご確認ください。

(1)大会参加申込み (2026年7月20日 (月) 受付開始～10月19日 (月) 締切)

下記の【大会参加及び研究発表申込みのURL・QRコード】のURLあるいはQRコードのいずれから「参加申込み」をしていただきます。

10月20日 (火) 以降に申込み場合は、すべて当日受付になります。当日受付にて、現金で当日料金をお支払いください。

【大会参加及び研究発表申込みのURL・QRコード】

<https://jssephyogo2026.peatix.com>



(2)情報交換会への参加申込み (2026年7月20日 (月) 受付開始～10月19日 (月) 締切)

下記の【情報交換会の参加申込みのURL・QRコード】のURLあるいはQRコードのいずれから「参加申込み」をしていただきます。

(注1)大会参加及び研究発表申込みとは別のURLになりますので、ご注意ください。

(注2)定員を満した場合は、お申込みいただけない場合がありますので、できる限り早く事前申込をお願いいたします。

【情報交換会の参加申込みのURL・QRコード】

<https://jssephyogo2026reception.peatix.com>



7. 自由研究発表予定者の一覧

- *記載のタイトルは、2026年9月1日時点での仮タイトルとなります。
- *正式な発表日時やタイトルは「最終案内」でお知らせします。
- *記載の番号順は本案内用です。研究大会当日の発表順とは関係ありません。

日本教育実践学会第29回研究大会《兵庫教育大学》自由研究発表者リスト 2026年9月4日現在

※あいうえお順で記載（発表プログラムの詳細は10月中旬予定の最終案内でお知らせします）

	氏名	所属	タイトル	共同発表者
1	青山 翔	山口大学	日本の鬼ごっこへの取り組みがフィリピンの小学生の実行機能に与える効果に関する予備調査	
2	明比宏樹	広島都市学園大学	学習者の情意過程と教師の教授方法の特徴に関する事例研究 ー「再生刺激法ver.4」を用いた場面分析を通してー	
3	畔上大輝	宇都宮大学教職大学院	身体的同期活動がもたらす一考察	尾崎承子(宇都宮大学)
4	麻生雄治	大分大学	生成AIを用いた英作文フィードバックの理解と自己修正プロセスの質的検討	
5	姉崎 弘	九州女子大学	スヌーズレン授業における担当教師への効果に関する一考察 ー全国肢体不自由特別支援学校小学部を対象にー	
6	五十嵐健一	新潟医療福祉大学大学院	小学校教員のwell-beingの形成過程とその関連要因 ー教師としての経験の語りに基づく質的検討ー	
7	石川正明	常葉大学	教員の養成と育成をつなぐ教授・学習プロセスマップの可能性 ー教員養成必修科目と小学校における授業研究での活用事例の検討ー	
8	伊藤智里	中国学園大学	母親の自己価値観再構成を支援する描画プロセスの教育的機能に関する美術教育実践研究 ー生涯教育としての教材研究型プログラムの試行的検討ー	廣畑まゆ美（中国学園大学） 土師範子（中国学園大学）
9	今川美幸	兵庫教育大学	子どものより主体的な社会参画に関わるための授業実践の実現に向けて	
10	薩山一起	鳴門教育大学大学院	親子関係におけるマルトリートメント ーエデュケーショナル・マルトリートメントと当事者のライフストーリーに着目してー	
11	勝倉明以	名古屋市立東丘小学校	Panasonic“NICOBO”を用いて「共生」を考える国語・道徳・図工の教科横断的な学習の実践——説明文教材・岡田美智男「弱いロボット」だからできること」を中心に	
12	河津恵子	愛知教育大学大学院	小学校でのいじめ傍観行動の増加予防と仲裁行動の促進 ーいじめ予防プログラムの汎用性の検討ー	五十嵐哲也（愛知教育大学）
13	木澤利英子	帝京大学先端総合研究機構	中学生に対する英語語彙学習支援	
14	久下泰史	兵庫教育大学大学院	学年（チーム）担任制における教員の協働受容プロセス	
15	小林恵美	兵庫教育大学大学院	「学びの多様化学校における『学びの保障』を支える教育実践 ー玖珠町立くす若草小中学校を事例としてー	
16	古山典子	福山市立大学	対話型音楽鑑賞経験プログラム（IMAEP）のホールでの音楽鑑賞との連携による効果ー「IMAEP with オーケストラ福山定期」事業の検証	瀧川 淳（国立音楽大学）
17	齋藤博紀	松本短期大学	保育者を目指す短期大学生のレジリエンスと保育者効力感についての縦断的研究	高橋典子（松本短期大学）
18	齋藤由江	宇都宮大学大学院	特別支援学校における不登校児童生徒への組織的対応について	
19	佐藤茂太郎	兵庫教育大学教職大学院	割合のインフォーマルな知識を利用した学習活動	
20	佐野捺穂美	鳴門教育大学大学院	中学校数学科における自律的な学習者の育成に関する研究 ー既習事項の想起と知識のネットワークに着目してー	秋田美代（鳴門教育大学）
21	重廣愛羽	兵庫教育大学大学院	JSL支援を取り入れた中学校体育授業カリキュラムの有効性について	上原禎弘（兵庫教育大学）
22	重松 孝	教育計画研究所	将棋学習児の実行機能に関する研究	松村京子（兵庫教育大学）
23	四宮貴久	環太平洋大学	日韓協働による表現教育アウトリーチ実習における大学生の学習認識 ーIPU・環太平洋大学および韓国・東西大学校学生の事後質問紙からー	
24	下田夏実	宇都宮大学教職大学院	スロー・ルッキングの視点を取り入れた数学的活動の検討	尾崎承子(宇都宮大学)
25	末永真晟	神戸大学附属中等教育学校	高等学校理科における粒子概念をもとにした仮説設定に関する研究	
26	須波皓晴	宇都宮大学教職大学院	生活年齢による二次的効果の検討	尾崎承子（宇都宮大学）
27	園田政則	大阪音楽大学	地域と学校の連携・協働による継続的な「ドラム出前授業」の意義に関する研究 ー小学校音楽専科教員へのアンケートによる意識調査の分析よりー	
28	高橋朋子	近畿大学	AIとの相互作用によって生じる学習過程の分析	東郷多津（京都ノートルダム女子大学）西之園晴夫（京都教育大学名誉教授）
29	谷 竜太	田中学園立命館慶祥小学校	算数科における統合的に捉える様相	

自由研究発表予定者の一覧（続き）

	氏名	所属	タイトル	共同発表者
30	寺坂民明	埼玉県飯能市立美杉台小学校	校内研修における教師の授業実践上の課題に関する事例的研究 －教師の「個性・多様性」と「協働性」を重視する授業実践を通して－	
31	東郷多津	京都ノートルダム女子大学	学ぶ意味を見出す授業設計のためのメタファーとイメージの意義 －A時代における寺子屋方式の陶冶－	高橋朋子（近畿大学）西之園晴夫（京都教育大学名誉教授）
32	富井和美	奈良教育大学	初等教科教育法（家庭）の模擬授業の相互評価より小学校家庭科の深い学びを考える	中川 愛（奈良教育大学）
33	中島義和	常葉大学	教員志望学生は「教科の境界を越える学び」をいかに捉えるか －授業者の意図を推測するリフレクションに着目して－	
34	中谷順一	兵庫教育大学大学院	機械翻訳による確認・推敲を取り入れた英語ライティング指導 －高校生のライティング不安の変容に着目して－	岩見理華（兵庫教育大学）
35	難波優太郎	岡山市立岡山中央小学校	説明的文章の批判的読みにおける判断基準の形成を目指した学習の開発	
36	西田寛子	中国学園大学	小学校英語教科科目における自己調整学習の「体験」と「指導」 －授業設計とマイクロティーチングを通じた学生の学び－	
37	西塚孝平	東北大学	教育の矛盾に対する大学生の認識はいかに変容するか －対話と省察に着目した混合研究方法によるtrajectory分析－	
38	西之園晴夫	京都教育大学（名誉教授）	教育実践研究からみた高等教育授業料の低額化の可能性 －職業陶冶と庶民文化の承認（評価）－	東郷多津（京都ノートルダム女子大学）高橋朋子（近畿大学）
39	芳賀優弥	宇都宮大学大学院	体育授業における主運動時の判断力を促す準備運動の検討	石島隆志（宇都宮大学）内田雄三（白鷗大学）
40	萩原和孝	第一工科大学	教職員の生命および安全・安心を守るための判決書教材・プログラム開発研究Ⅰ	新福悦郎（石巻専修大学）蜂須賀洋一（上越教育大学）
41	廣畑まゆ美	中国学園大学	保育者養成校における地域子育て支援策：母親自身の探究を基盤としたプログラムの実践とその検証-音楽鑑賞活動を題材に-	土師範子（中国学園大学）伊藤智里（中国学園大学）
42	福田麻莉	京都大学	理科の探究的学習をどのように見取り、フィードバックするか：シミュレーション環境における学習ログを活用した探究過程の個別評価と適用事例	
43	堀出雅人	京都華頂大学	園外活動を通じた幼稚園と社会教育施設との協働探求	
44	元澤倫久	兵庫教育大学大学院	生成AI時代に指導者が専門性を発揮する主体性形成支援モデルの開発的研究	久我直人（鳴門教育大学）
45	矢田 敦之	高知大学	教具を通じた「具体的操作」から「概念形成」への往還的アクションリサーチ －附属幼稚園・特別支援学校における図形認知と自己効力感の協働研究－	
46	柳田勇樹	兵庫県教育委員会阪神教育事務所	「小学校6年生における教師・友だちからの被受容感と自尊感情との関連 －肯定的自尊感情と否定的自尊感情の差異に着目して－」	
47	山岸多恵	平安女学院大学	領域「言葉」と「表現」をつなぐ即興的・応答的な読み聞かせ －歌唱を含む絵本を用いた保育者と保育者養成校学生の比較調査から－	弘田みな子（平安女学院大学）
48	山崎湧太	岡山市立福田小学校	命数法から記数法に移行する子どもの思考	
49	山本訓子	関西福祉科学大学	保護者が評価した小学1年生の実行機能と問題行動	松村京子（兵庫教育大学）
50	山本裕貴	兵庫教育大学大学院	教師のGritとあきらめ傾向に関する検討 －教職経験年数に着目して－	五十嵐哲也（愛知教育大学）
51	由良健一	奈良女子大学附属小学校	子どもとつくる算数学習における子どもの「おたずね」の機能 －小数のわり算における数学的理解の更新過程に着目して－	
52	和田光平	愛媛大学教育学部附属小学校	夢中になって考える子どもの育成 問い作りと学びの続きから数学的に考える	
53	渡辺まり絵	宇都宮大学教職大学院	学校職員の「第三のまなざし」を「チーム学校」に生かすために	尾崎承子（宇都宮大学）
54	渡邊雄介	湘北短期大学	自然の素材を活用した造形活動が保育実践意識に与える影響	

8. 発表論文原稿の最終提出について（2026年9月1日（火）受付開始～10月2日（金）締切）

- ・発表論文原稿は、次のGoogle Formから、ご提出いただきます。

<https://forms.gle/Nftr1ybN3Ac13cWMA>

- ・発表論文原稿のフォーマットは【原稿執筆要綱：研究発表論文の書式】（本案内の6～7ページ）をご参照ください。
- ・発表論文原稿は、A4判2ページとします。提出の際は、PDFファイルとWordファイルの両方をご提出ください。
- ・Google Formでは、発表論文原稿のアップロードとともに必要項目を入力していただきます。このGoogle Formによる提出が最終の提出となりますので、発表論文原稿提出後の発表題目や副題等の修正はご遠慮ください。

9. 研究大会参加費及び情報交換会参加費

項 目	大会参加費 (事前支払)	大会参加費 (当日支払)	情報交換会参加費 (事前支払のみ)
正会員	4,000 円	5,000 円	6,500 円
学生会員	3,000 円	4,000 円	5,500 円
非会員 (一般)	4,000 円	5,000 円	6,500 円
非会員 (学生)	3,000 円	4,000 円	5,500 円

10. その他の連絡事項

(1) 領収書について

領収書が必要な場合は、Peatixにて各自発行できる「領収データ」をダウンロードしてご利用ください。
「領収データ」の表示方法については、別ファイル「**Peatixでの各種申込み方法と領収書の発行について**」をご参照ください。

所属先の都合で、Peatixの領収書では対応できない場合は、事前に大会事務局へご連絡ください。当日、受付にて、お渡しいたします。

(2) 昼食について

キャンパス内は全面飲食禁止となっております。そのため、本大会では昼食用弁当の受付は行いません。
1日目の昼食につきましては、キャンパス周辺に多数ございます飲食店をご利用くださいますようお願いいたします。なお、大会当日に限り一部の教室を昼食会場として開放する可能性はございますが、それに関しては今後の案内をご確認ください。

(3) 宿泊について

現在、会場周辺のホテルは予約が取りにくい状況となっております。周辺駅エリアの宿泊施設も含め、できるだけお早めにご予約いただくことをお勧めいたします。

10. 今後の通信予定

10月下旬に「最終案内」を学会のホームページ (<https://jssep.net/>) に掲載する予定です

11. お問い合わせ先

本大会についてのご質問や連絡事項がある場合は、次の**本大会用アドレス**にご連絡ください。
(本大会に関して、学会HPの「お問い合わせ」から学会事務局本部への連絡はご遠慮願います)

日本教育実践学会第29回研究大会 実行委員会

実行委員長 上原禎弘

事務局長 河内勇

実行委員 細谷里香 吉田夏帆 岩見理華 井上朋子 鈴木正敏

問合せ先 e-mailアドレス ikawachi-jssep2026@ml.hyogo-u.ac.jp
第29回研究大会実行委員会 事務局長 河内勇

1 頁 A 4 判

複数の場合，登壇者に○印を付ける。

25～30 mm

□□□□・発表題目・□□□□
 題目（欧文）.....
 ○□□□□ 発表者氏名 □□□□
 氏名（欧文）.....
 △△△△△ 所 属 △△△△△
 所属（欧文）.....

20～25 mm

要約

 200字程度

 (1行空ける)

キーワード 3～6字程度
 (1行空ける)

1 はじめに

2 方 法
 (1)
 ①

20～23字/行

20～23字/行

25～30 mm

45±3行/頁

← 2字程度空ける

